

ひろまる“相談”サロン

毎月1回、白石各地で『ひろまる相談サロン(個別の道政相談会)』を開催中です。
今回は、北郷の「やっとかめ Pasta YattoKame」さんの一角で、
“個別のよろず相談会”を開催します。

※ご相談希望の方は、原則予約制(お一人30分)です。
事務所までお問合せください。(TEL:860-8666)
尚、差し支えなければ、事前に相談内容の概要をお知らせください。

◆日時 **3月26日(木) 13:00~16:00**
◆場所 やっとかめ Pasta YattoKame
(白石区北郷3条4丁目11-24)
◆参加費 ワンドリンク以上のオーダーをお願いしております。



※JR白石駅より徒歩5分
(北13条北郷通沿い)

ひろまるシネマ in リファインド

〈地球〉と〈地域〉と〈自分〉のために、新しい選択肢をつくっていけるような映画をいっしょに見ませんか？



暗殺未遂にあいながらも、医療、心理的、そして司法的な手段を通して、婦人科医のデニ・ムクウェゲ医師が性暴力の生存者を献身的に治療する姿を追ったドキュメンタリー映画『女を修理する男』を上映します！

★公式サイト <https://congomm2016.wixsite.com/asvcc/blank-1>

《とき》 **3月27日(金) ※各回とも定員12名**
昼の部 15:00~ / 夜の部 18:30~

《ところ》 珈琲淹リファインド ※地下鉄 東西線「菊水駅」より徒歩7分
(白石区菊水8条2丁目1-35/TEL:011-825-9461)

《参加費》 500円 + ワンドリンク以上のオーダーをお願いいたします。



地域ラジオ放送局と、もっと活用はせんか？



《白石区》エフエムしろいし《83.0MHz》
毎週月曜日 10:30~11:30 『広田まゆみのすっきりマンデー』放送中！！



東日本大震災の時にコミュニティFM(地域のラジオ放送局)が、地域に貢献した事例に注目してきました。4期目から、地元白石区、お隣の厚別区のラジオ局とご縁ができ、毎週それぞれ1時間の番組を担当してきました。
小学生から、地元の企業・団体の代表の方など、さまざまな実践者の方に出演いただき、私自身が学ぶ過程を、みなさんにも情報「共有」しています。
非常時のためにも、日常的にラジオを活用する機会を増やしていきたいです。



《厚別区》FMドラマシティ《77.6MHz》
毎週水曜日 19:00~19:59 『広田まゆみのイノベーション北海道
~ひろまるつながるNPOな仲間たち』放送中！！

Facebook(ライブ)・YouTube(録画)でも、それぞれ配信中です！






北海道の底力発進！



ひろまる通信

立憲民主党

北海道議会議員 広田まゆみの活動報告

2026年2月28日 ひろまる通信 号外

発行 広田まゆみ
住所 〒003-0025
札幌市白石区本郷通7丁目北1-28
TEL:011-860-8666 FAX:011-860-8667
E-mail: office@hiromaru.jp
URL: https://hiromaru.jp



幸福だから笑うのではない
笑うから幸福になる

まだまだ寒さも残る
そうなの北海道ですが
皆様いかがお過ごしですか
中央政治の動向もいろいろと
見えてくるも、今もまた
北海道の自立と持続可
能な発展の途に努力
してまいります
平和と自由と民主主義
の為に共に努力します

是れつながるべきだ！ 広田まゆみ 検索

北海道議会議員 広田まゆみ オフィシャルサイト
<https://hiromaru.jp/>

QRコードで簡単にアクセスできます！



フェイスブックページも更新中です！
▼ 広田まゆみ
<https://www.facebook.com/mayumihirotta.94>
▼ 北海道議会議員 広田まゆみ政務事務所
<https://www.facebook.com/hiromarujimusyo>
X (旧 Twitter) やってます！ @hirotamayumi

北海道議会議員 広田まゆみ 2026政経セミナー

開催を控えていた政経セミナー(北海道議会議員広田まゆみ 企業家後援会「広志会」主催)ですが、北海道の自立と持続可能な発展のため、一人でも多くの方々と共通言語を持つこと、そして、広田まゆみの活動を応援し、ともに活動する仲間を増やすために、2年ぶりに再開を決定いたしました。
基調講演は、前二セコ町長の片山健也さんにご登場いただきます！
みなさんの参加をお待ちしています。



◆参加費 5,000円
◆参加対象 地方議員/地方自治体/労働組合/その他、北海道の自立と持続可能な未来に貢献したい個人、団体、企業の方なら、どなたでも

《主催》 企業家後援会 広志会

講演『住民自治からはじまったニセコのまちづくり
~これからの北海道に期待すること~』
片山 健也 さん(前二セコ町長)



◆日時 2026年 **3月23日(月)**
18:30~20:30(開場 18:00)

◆場所 TKP札幌ビジネスセンター赤れんが前
(札幌市中央区北4条西6丁目1毎日札幌会館 5階)

※詳しくはイベントページをご覧ください。
<https://www.facebook.com/events/3414407622042838/>

◎ひろまる通信ご希望の方は
FAX番号またはご住所をお知らせ下さい。
TEL:011-860-8666
FAX:011-860-8667



《白石区》 毎週月曜日 10:30~11:30
『広田まゆみのすっきりマンデー』放送中！！
エフエムしろいし《83.0MHz》

《厚別区》 毎週水曜日 19:00~19:59
『広田まゆみのイノベーション北海道
~ひろまるつながるNPOな仲間たち』放送中！！
FMドラマシティ《77.6MHz》



1. 第32期 道議会の幕開けと

「社会企業家的地方議員」の決意

2023年5月、北海道議会は第32期の歩みを始めました。札幌市白石区選出の広田まゆみは、5期目の当選を果たし、これまでの経験と学びを北海道の自立のために捧げる決意を新たにしました。広田が掲げるキーワードは「社会企業家的地方議員」です。これは、中央政治からの予算配分を待つのではなく、地域にある課題を「新しい仕事やサービス」に変え、地域を耕していく存在を指します。ドロッカーの「私的な強みは公益になる」という言葉を指針に、自分自身の「学びの場を作る力」を道政に活かす挑戦を続けています。

2. 「4つの挑戦」：北海道をアップデートする具体策

今期、広田が最優先で取り組んでいるのは、4つの重点目標です。これらは単なる公約ではなく、北海道の持続可能性を左右する本質的な課題です。

① 森や自然を活用した「自然保育」の確立

北海道の豊かな自然は最大の強みですが、実は「森のようちえん」のような自然保育制度の導入において、北海道は先進県に後れを取っています。

＜現状と課題＞すでに17県が自治体ネットワークに参画していますが、北海道ではまだ自主保育（公的な支援が乏しい状態）の枠にとどまっています。

＜広田の提言＞2023年4月に施行された「こども基本法」を機に、自然の中での遊び・学びを保障する制度の導入を求めています。これは不登校対策や、自然体験を重視する子育て世代の移住促進にも直結する戦略的な政策です。

② 「地域循環型経済」へのシフト

「大きなお金」を呼び込むだけでなく、地域内で「お金を回す」仕組みづくりを提唱しています。

◇漏れバケツ理論の克服

食やエネルギーなど、北海道の強みを活かした独自の持続可能な発展をめざします。

◇具体的な「ものさし」

50年、100年先を見据え、地元の食材（酒、小麦、木材など）の活用率を高めることや、宿泊施設内だけで完結しない「まち歩き」型の観光推進など、地域への経済波及効果を重視した政策を提案しています。

③ 災害に強い地域づくり（エネルギーと情報）

2018年の全道停電（ブラックアウト）の教訓を風化させず、市民一人ひとりが備えられる体制を推進しています。

◇DIY型独立電源

大規模なエネルギー政策を待つだけでなく、家庭やコミュニティで通信環境程度の電気を確保できる「小さな太陽光発電」の普及をワークショップを通じて広めています。

◇情報のライフライン

災害時に正確な情報を届けるため、日常からコミュニティFMやSNSを使いこなす環境づくりを進めています。特に高齢者のSNS活用を「幸せ確認」の手段として推奨しています。

④ 社会企業家的地方議員100名の誕生

地域課題をイノベーションで解決するリーダーを育成しています。現在、賛同者はまだ少数ですが、市町村議会のなり手不足解消のためにも、この新しい議員像を全道に広げるべく、学習会を継続しています。

4つの挑戦

3. 議会での質疑：子ども・環境・人権を守る

第32期においても、広田は文教常任委員会や予算特別委員会などで、道民の生活に直結する鋭い質問を行ってきました。

◇学校給食のオーガニック化

食料安全保障の観点からも、学校給食での地場産・有機農産物の活用を推進し、子どもたちの健康と地域の農業を守る議論を前進させています。

◇多様性を認め合う社会

「北海道障がい者条例」の検証や、すべての人が働きやすい労働環境の整備、誰一人取り残さない共生社会の実現に向けた質問を重ねています。

◇農林水産業の未来

有機農業の推進や、100年先の森を守るための「自伐型林業」の支援、障がい者雇用の推進についても具体的な提言を行っています。

4. 徹底した「見える化」と対話の場づくり

広田の最大の特徴は、議会の外での圧倒的な活動量と発信力にあります。

◇北海道未来セミナー（毎月22日）

1期目から続く学習会をオンライン化し、アーカイブとして公開。行政、NPO、議員が水平に関係性を築き、先進事例を学ぶ場をデザインしてきました。（休止中）

◇ひろまる相談サロン

白石区内の各地で、個別の道政相談会を継続。地域の切実な声を直接、政策に反映させるパイプ役を果たしています。

◇メディアを通じた発信

・ラジオ：「広田まゆみのすっきりマンデー」「イノベーション北海道」の2番組を担当。地域のNPOや社会企業家の活動を市民に届けています。

・Vlog・SNS：日々の活動を動画やブログで発信。最近では、火災に見舞われた江別市の大麻銀座商店街を支援する基金のPRなど、困難に直面した地域に寄り添う活動も行っています。

◇専門紙への寄稿

自治体専門紙「自治日報」に「最後に住民を守るのは誰か」と題したコラムを執筆するなど、地方自治のあり方について全国的な視点でも発信しています。

5. 結びに

政治は、制度をつくることだけが目的ではありません。制度が機能しない現場にこそ足を運び、当事者の「強み」に光を当て、共に解決策を見つけ出していく。それが広田まゆみの目指す政治の姿です。

人口減少や気候変動といった大きな変化を、北海道が世界に誇れる大地へと進化するための「機会」に変えていくために。広田まゆみは、これからも白石区の現場から、そして道議会の議場から、一隅を照らし続けます。



《北海道未来セミナー》や《コミュニティFMラジオの番組》など、過去のアーカイブ動画も公式YouTubeチャンネルでご覧いただけます！是非ご登録ください。



ほほ

毎月「質問」しています。～前期は《文教常任委員会／北方領土対策特別委員会》に所属～

《2025(令和7)年7月》

◇総合政策常任委員会

・政策評価について ・協働推進基本指針について

◇人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会

・北海道人口ビジョン及び北海道総合戦略について

《8月》総合政策／人口減少問題・地方分権改革等調査

・ほっかいどう応援団会議について

・北海道創生総合戦略における社会減対策の在り方などについて

《9月》総合政策／人口減少問題・地方分権改革等調査

・第4期北海道科学技術振興基本計画について

・若者をはじめとする社会減対策などについて

《11月》総合政策常任委員会

・北海道知的財産戦略推進計画について

《12月》総合政策常任委員会

・北海道インフラ長寿命化計画について

令和7年 第3回定例道議会 予算特別委員会第2分科会

【水産林務部所管】

1. 100年先の森を守る林地開発許可について

2. 自伐型林業について

3. 漁業経営体の育成・人材確保について

4. ブルーカーボンなどについて

【経済部所管】

1. 地域共生型新エネルギーの導入促進について

2. ゼロカーボン推進のためのデジタル技術の活用について

令和7年 決算特別委員会

【企業局】、第2分科会【建設部】【水産林務部】

【農政部】【経済部】所管での質問結果は、議事録

とともに「録画配信」も公式サイトに掲載。

後期は《総合政策常任委員会／人口減少問題・地方分権改革等調査特別委員会》に所属

《直近の委員会での質問概要報告》

北海道が直面する喫緊の課題について質疑を行いました。（2026(令和8)年1月14日・15日実施）

①北海道の「水」と「大地」を、抜け穴だらけの開発から守り抜く！～水資源の保全と開発規制の抜本的見直し～

【質問の要旨】

現行の水資源保全条例は「土地取引の把握」が主眼であり、権利移転を伴わない開発や取得後の目的変更を阻止できていません。釧路湿原等の貴重な環境を守るため、土地取引の有無に関わらず、一定規模以上の太陽光発電等の開発行為を事前に捕捉し、勧告・指導ができる「事前届出制」の導入を強く求めました。また、実効性を担保するため、無届や虚偽報告に対し地方自治法上の上限となる「行政罰（過料）」を設けるべきです。市町村任せにせず、道が主導して広域的な「面」で守る「流域管理」の視点を取り入れた条例改正を迫りました。

【道の答弁】

悪質な開発には庁内連携や法令運用で厳正に対処し、国へも規制強化を要望している。地域指定は住民意向を尊重しつつ、引き続き市町村と連携して適正な土地利用の確保に取り組む。

②モノから「ミッション」へ。共感で北海道の未来を買い取る～「ほっかいどう応援団会議」の進化とナショナル・トラスト～

【質問の要旨】

1,700社超が参画する「ほっかいどう応援団会議」を、単なる交流の場から、地域課題と資金・技術を繋ぐ「マッチング・エンジン」へ進化させるべきです。返礼品競争から脱却し、寄附者が応援したいNPOを直接指定できる「NPO指定型ふるさと納税（佐賀県モデル）」を導入し、環境保全の専門組織を戦略的に呼び込むことを提案。さらに、不適切な開発の懸念がある水源地等を、寄附金によって地元NPO等が買い取って守る「ナショナル・トラスト（市民や企業による土地買い取り・保存運動）」への支援を求めました。悪質な開発は「規制」で防ぎ、価値ある自然は「共創」で守る。これこそがSDGs未来都市・北海道の姿です。

【道の答弁】

他自治体の事例も参考に、ネットワークを活用した共感を得られる取組に努める。プロジェクトベースで課題を分かりやすく発信し、企業等との協働拡大につなげていく。

③高校は「まちの心臓」。教育の枠を超えた、本気の人口減少対策を！～地方創生の核としての高校支援・人材育成～

【質問の要旨】

人口減少下において、高校の存続は地域の死活問題です。教育委員会任せにせず、知事部局が主導して地元の基幹産業と高校生を直結させる「実習・就業支援予算」を確保すべきです。道立から自治体立へ移管し独自の教育を目指す自治体に対し、寮の整備等を重点支援する「基金」の創設を提案。また、地域おこし協力隊と一体化した「学習指導員」の配置など、高校を若者の流入拠点（ゲートウェイ）と位置づけた移住・定住施策との強力な連携を求めました。

【道の答弁】

振興局を中心に地域資源を活かした人材育成に取り組んでおり、既存の交付金等を通じて市町村への支援を継続する。道外からの入学者受入れも意義があり、関係機関と連携して進める。

現在は、令和8年「第1回定例道議会 予算特別委員会」に向け準備中！

北海道議会議員 広田まゆみ オフィシャルサイトでは、「活動報告」のほか、これまでの「道議会議事録（録画配信あり）」も掲載していますので、併せて御覧ください。 <https://hiromaru.jp/>